



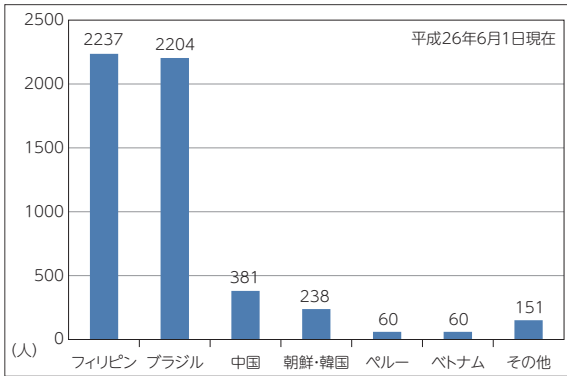
ようこそ！ 市長室へ

16



異文化のふれあいを 楽しみましょう

5331人。今、可児市に暮らしている外国籍市民の数です。平成20年の約7500人をピークに、その後減少したものの、今年1月から増加に転じています。この6月に初めて、フィリピン国籍の人



外国籍市民の人数（国籍別上位）



「フレビアカフェ」でおいしいコーヒーをどうぞ

数が、ブラジル国籍を超えました。現在、1位フィリピン2237人、2位ブラジル2204人、3位中国381人となっています。日本は、労働力不足を補うため、多くの外国人を受け入れてきました。その一方で、言葉や文化、生活習慣などの違いから、地域住民

との間に騒音やごみ出しなど、さまざまなトラブルが発生しました。地方行政には、多言語表記や就学支援など、多種多様な対応が求められます。地方からみれば、国の受け入れ制度設計が本当に万全だったのかの思いがあります。

しかしながら、私たちは外国籍市民が多く居住していることを、前向きにとらえたいと思います。

一つ目は、多様な市民の皆さんが、安心して快適に暮らしていただける街。それは、その街の文化度だと思っています。外国籍市民が快適に暮らしていただけることは、全ての市民の安心・快適な暮らしにつながっていきます。

二つ目。外国人が多く住む地域だからこそ、幼いうちから共に学び、遊べる可児市ならではの環境があります。子どもたちは、異なる文化に触れるなかで、個性や多様性を認める心を育んでいきます。このお互いを理解し尊重する気持ちこそが、例えば、いじめをなくすことにつながると思っています。

そして三つ目。多文化共生センターの「フレビアカフェ」では、



一緒に育児を楽しみましょう「Earth Babies」

世界各国の料理や雑貨の販売もあり、異国情緒たっぷりです。また、「多文化共生育児サークル Earth Babies」は、国境を越えた子育てがキーワード。多くの日本人・外国人ママが集い、楽しく交流を深めています。

こんな楽しい場が身近にあるのも、本市の魅力です。まずは、万国共通語の「笑顔」を携え、さまざまな出会いの場に参加してみましょう。笑顔のあいさつには、きっとすてきな笑顔のあいさつが返ってくると思います。

可児市長 三浦 成伸